

## ○種目別開催要項（案）

### 【テニス交流大会】

#### 1 競技規則

大会開催次点での公益財団法人日本テニス協会競技規則を準用する。

#### 2 競技方法

- (1) チーム対抗の団体戦を行う。
- (2) チーム編成は、次のとおりとする。  
 監督 1人  
選手 6人（男子4人[70歳以上2人以上]・女子2人、登録選手8人以内）  
 合計 9人以内  
 （監督は、選手を兼任できるが、その際は選手としても登録する。）
- (3) 対戦方法は、次の順序で行う。  
 第1試合 男子ダブルス（70歳以上） 1組  
 第2試合 女子ダブルス（60歳以上） 1組  
 第3試合 男子ダブルス（60歳以上） 1組
- (4) 予選リーグ戦及び決勝トーナメントは、4ゲームマッチ（3ゲームオール後7ポイント先取タイブレーク、ノーアドバンテージ・スコアリング方式）で行う。
- (5) 予選リーグ戦は3ポイント（3組）全試合行う。決勝トーナメントは、1、2回戦は3ポイント全試合を行い、3回戦以降は勝敗決定後残り試合は打ち切りとする。
- (6) 参加チームを17ブロックに分け予選リーグ戦を行い、各ブロック1位による決勝トーナメントを行う。
- (7) 各ブロック2位以下のチームは、同順位別の決勝トーナメントを行う。
- (8) 予選リーグ戦の順位決定方法は、公益財団法人日本テニス協会「JTAテニスルールブック」ラウンドロビン方式における順位決定方法を準用し、次の順序で順位を決定する。
  - ① 完了試合数の多いチームを上位とする。ノーショウ、ウィズドロー、リタイアをした試合は完了試合とならない。ただし、その相手チームは完了試合となる。例外としてリタイアした選手が医師の診断書または大会トレーナー・大会ドクターの診断書を当日提出した場合は完了試合とするが、リタイアした選手は同日の他の試合に出場することはできない。
  - ② 勝率の高いチームを上位とする。（勝率＝勝利した対戦チーム数÷総対戦チーム数）
  - ③ 2チームが同率になった場合は、お互いの対戦結果（直接対決）の勝者を上位とする。
  - ④ 3チームが同率となった場合は、以下の要素で順位をつける。
    - ア 合計の勝利試合数が多いチームが上位とする。
    - イ アが同じ場合、全試合での取得ゲーム率の高いチームを上位とする。  
 取得ゲーム率＝取得ゲームの合計数÷全試合のゲーム合計数
    - ウ ノーショウ、または失格者の取得ゲーム数はすべて0とする。（例4-0）
    - エ けが等によるリタイアの場合は、勝者はリタイアの後、残りのゲームをすべて勝ったとしてゲーム数を記録し、敗者はリタイアするまでに取得したゲーム数を記録する。（A対Bの試合で2-2のときBがケガなどでリタイアした場合、勝者はAでスコアは4-2と記録する。）
- (9) 試合進行により、一部のブロックは夜間試合（ナイター）となる場合がある。

#### 3 大会規定

- (1) 参加者の年齢は、60歳以上（1962（昭和37）年4月1日以前に生まれた人）とする。  
 また、チーム編成における70歳以上は1952（昭和27）年4月1日以前に生まれた人とする。
- (2) 試合の組合せは、主催者及び主管団体で行う。また、大会運営上必要と認められる場合は、試合の組合せなどを一部変更することがある。
- (3) 試合球は、主催者で用意する。
- (4) 天候その他の事情により、日程及び競技方法を変更することがある。